

平成23年度 京都市予算案 事業概要

総合企画局・行財政局

事務事業名	「はばたけ未来へ！ ^{みやこ} 京プラン(京都市基本計画)」 の発信と新たな実施計画の策定		
予 算 額	16,000千円	新規・継続の別	新規
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠
担 当 課	総合企画局政策企画室(政策企画・計画調整担当) (222-3035) 行財政局財政部財政課 (222-3288)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>京都市では、平成23年度から10年間の京都の未来像と主要政策を明示する都市経営の基本となる計画として、「はばたけ未来へ！ ^{みやこ}京プラン(京都市基本計画)」を、平成22年11月市会定例会の議決を経て、平成22年12月に策定したところである。</p> <p>この計画は、単なる「行政計画」ではなく、市民と行政とが計画の内容を共有し、共に汗を流して協働する「共汗型計画」である。</p> <p>[事業概要]</p> <p>平成23年度は、計画の着実な推進に向け、計画の内容を多くの市民の皆様にご覧いただけるよう広報活動を展開するとともに、基本計画に掲げる重点戦略及び行政経営の大綱を推進するための具体的な取組内容やスケジュール、目標等を明示した5年程度を計画期間とする新たな実施計画を、財政構造改革の改革実行計画と一体のものとして策定する。</p> <p><u>基本計画を周知するための新聞・雑誌広告の掲載やイベントの開催</u> <u>新たな実施計画の策定、パブリック・コメント(市民意見募集)の実施</u></p>			
[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]			

平成23年度 京都市予算案 事業概要

総合企画局

事務事業名	未来の京都創造研究事業(仮称)		
予 算 額	17,000千円	新規・継続の別	新 規
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠
担 当 課	政策企画室(政策企画・計画調整担当)(222-3035)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>近年，行政が取り組む政策課題が高度化，専門化の傾向にある一方で，地方分権改革の進展により，それぞれの地方自治体が自らの責任において政策を立案，選択する時代を迎えている。</p> <p>このような状況の下，スピード感ある政策形成を行うためには，地方自治体が自ら高度かつ専門的な調査・研究を行い，最先端の研究成果を政策に反映させる仕組み，制度を整える必要がある。</p> <p>京都市は，総合大学から特色のある単科大学に至る様々な大学が集積する大学のまちであり，あらゆる研究分野をカバーする学際都市である。</p> <p>また，大学コンソーシアム京都市は，京都に立地する大学を中心に50の大学等で構成され，大学間連携と相互協力を図り，加盟する大学・短期大学の教育・学術研究水準の向上などを目指す組織で，幅広い大学間ネットワークを構築している。</p> <p>そこで，大学コンソーシアム京都と協働して，未来の京都づくりに向けた政策を立案するための調査・研究を実施するとともに，若手をはじめとした市政を支える研究者等の発掘・育成とネットワークの形成を図る事業を実施する。</p> <p>[事業概要]</p> <p>平成23年度は，次のとおり取り組む。</p> <p>京都市政にとって政策化が必要なテーマについて，公募等により研究者を募集し，個人又は共同で調査・研究を行う。必要に応じ，研究者や市職員等から成るチームを設置</p> <p>研究者等の情報の収集，研究会や懇談会の開催等により，若手をはじめとした最先端の研究に取り組む研究者等を発掘，育成し，ネットワークを形成</p>			
[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]			

平成23年度 京都市予算案 事業概要

総合企画局

事務事業名	岡崎地域活性化推進事業		
予算額	30,000千円	新規・継続の別	新規
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠
担当課	市民協働政策推進室（222-4178）		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>「水」と「緑」が融合し、国内でも類を見ない多くの文化・交流施設が集積した岡崎地域は、京都の近代化のシンボリック地域であり、市民をはじめ、国内外から年間延べ500万人を超える方々が訪れる「国際文化観光都市」京都の顔となる重要な地域である。</p> <p>平成22年7月に、市民、有識者、地元や各界関係者などで構成する検討委員会を設置し、岡崎地域の優れたポテンシャルを活かして、市民、企業、行政など多くの主体が協力して取り組む将来像や方策を盛り込んだ「岡崎地域活性化ビジョン」を、平成22年度中に策定する予定である。</p> <p>[事業概要]</p> <p>平成23年度は、岡崎地域活性化ビジョンを推進するための組織づくりとリーディング事業に取り組む。</p> <p>また、岡崎地域活性化に係る本市の各政策の融合を図るため、引き続き、庁内プロジェクトチームを設置し、全庁的体制で取組を推進する。</p> <p>1 エリアマネジメント組織の設立・運営</p> <p>多くの主体連携の下でビジョンを着実に推進するため、エリアマネジメント組織を設立</p> <p>【構成】地域の施設や団体、事業者、行政、専門分野のアドバイザー、マネジメントの専門家等</p> <p>【主な役割】 施設間連携の強化・調整 魅力創出事業の企画・調整・推進 市民、団体、事業者等への事業参画呼び掛け 総合的な情報発信</p> <p>2 活性化推進のためのリーディング事業</p> <p>岡崎・光とアートのプロムナード事業（仮称）</p> <p>施設の夜間開館のほか、ライトアップやイルミネーションなど光とアートの演出により、新たな夜の賑わいを創出</p> <p>魅力情報発信事業</p> <p>地域の施設や資源をつなぐモデルコースを設定し、散策マップを発行するとともに、携帯端末など様々な媒体を活用して魅力情報を発信</p> <p>[参考（他都市の状況・事業効果など）]</p>			

平成23年度 京都市予算案 事業概要

総合企画局

事務事業名	留学生誘致に向けた「大学のまち京都・学生のまち京都」の発信		
予 算 額	5,000千円	新規・継続の別	新 規
		来まちづくり推進枠・局配分枠の別	局配分枠
担 当 課	市民協働政策推進室 (222-3103)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>大学と京都のまちの国際化を目指した留学生倍増(平成19年度 約4,500人 平成29年度までに1万人)の目標実現に向け、大学による留学生等の受入拡大と国際社会に対応した人材育成を支援することが重要である。そこで、「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画」推進期間内(平成21～25年度)において、「海外からの優秀な留学生等の増加に向けた取組」として、「海外への発信力強化」を重点的に実施することとしている。</p> <p>その一環として、海外において留学生フェアを実施することにより「大学のまち京都・学生のまち京都」を直接アピールする。また、4言語(日・英・中・韓)に対応した留学生誘致用ホームページを開設し、「大学のまち京都・学生のまち京都」の魅力や、留学先を探す際に必要な各大学等の情報などを発信することで、京都で学びたいよう働きかけを行う。</p> <p>[事業概要]</p> <p>平成23年度は、次のとおり取り組む。</p> <p>中国における留学生フェアの開催(仮称)</p> <p>京都への留学生を誘致するため、「大学のまち京都・学生のまち京都」の魅力発信する留学生フェアを上海などで開催する。</p> <p>留学生誘致用ホームページ(日・英・中・韓)の開設</p> <p>4言語で「大学のまち京都・学生のまち京都」の魅力や、留学先を探す際に必要な各大学等の情報を掲載したホームページを開設する。</p>			
<p>[参 考(他都市の状況・事業効果など)] 福岡県留学生サポートセンター(行政(福岡県,福岡市,北九州市等),経済界,大学が運営協議会を構成:平成20年8月開設)において,リクルート広報事業として多言語(日・英・中・韓)によるホームページや,留学生フェア(ベトナム・ハノイ)を実施している。</p>			

平成23年度 京都市予算案 事業概要

総合企画局

事務事業名	京都・ザグレブ姉妹都市提携30周年及び 京都・キエフ姉妹都市提携40周年記念事業		
予算額	18,519千円	新規・継続の別	新規
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠 局配分枠
担当課	国際化推進室 (222-3072)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>京都市は、ザグレブ市（クロアチア）と昭和56年（1981年）に、キエフ市（ウクライナ）と昭和46年（1971年）に姉妹都市提携を行い、平成23年度にはそれぞれ提携30周年、40周年を迎える。</p> <p>これを契機に、両市の市民レベルの交流を更に推進するとともに、国際都市・京都を世界に向けて発信するため、姉妹都市提携30周年及び40周年記念事業を実施する。</p> <p>[事業概要]</p> <p>(1) <u>両市の代表団の相互派遣</u></p> <p>(2) 京都におけるザグレブ、キエフの文化紹介（平成23年9～10月実施予定） <u>京都市内において、音楽演奏等、ザグレブ及びキエフを紹介するイベントを実施するとともに、市民レベルの交流を推進する。</u></p> <p>(3) ザグレブ、キエフにおける京都・日本の文化紹介、京都創生の海外発信（平成23年8～9月実施予定） <u>ザグレブ、キエフにおいて、雅楽等、京都・日本の伝統文化を紹介するイベントを実施する。また、京町家や京都観光のPRなど京都創生の海外発信を行う。</u></p> <p style="text-align: right;"> 総事業費 18,519千円 うち、未来まちづくり推進枠 9,000千円 局配分枠 9,519千円 </p>			
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]			

平成23年度 京都市予算案 事業概要

総合企画局

事務事業名	京都の魅力海外発信事業		
予算額	4,000千円	新規・継続の別	新規
		来まちづくり推進枠・局配分枠の別	局配分枠
担当課	国際化推進室 (222-3072)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>京都市は、歴史都市というだけでなく、世界中から観光客を引き寄せる観光都市であり、更には、37の大学・短期大学をはじめ世界水準の研究機関が集結する学術研究都市、伝統産業から先端産業が息づくものづくり都市、そして京都議定書誕生の地として様々な取組を進める環境先進都市でもある。</p> <p>京都市では、これまでから、写真集、京都発信パンフレット、京都観光の魅力をイメージ映像で紹介するDVD等を活用しており、京都がもつ様々な魅力を包括的に紹介する広報媒体が存在していなかった。</p> <p>[事業概要]</p> <p>平成23年度は、文化、産業、大学、環境等、京都が持つ魅力を包括的かつコンパクトにまとめた多言語版（英語、スペイン語、中国語、韓国・朝鮮語等）のDVDを作成し、様々な機会を通じて、京都の魅力を総合的にPRする。</p> <p>< 活用例 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海外における国際会議、イベントでの上映 ・ 姉妹都市関連事業での上映・配布 ・ 海外に訪問される市民交流団体、青年海外協力隊隊員、シニア海外ボランティア等への配布 ・ 海外に進出している京都企業の現地法人、現地工場への配布 ・ 入洛された海外からの要人等への配布 			
[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]			

平成23年度 京都市予算案 事業概要

総合企画局

事務事業名	国際交流ボランティア推進事業		
予算額	1,000千円	新規・継続の別	新規
		来まちづくり推進枠・局配分枠の別	局配分枠
担当課	国際化推進室 (222-3072)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>市民,民間レベルでの国際交流が定着したまちとなるためには,多くの市民が外国の文化を知り,理解し,尊重できる国際感覚を養うとともに,外国籍市民も日本語でコミュニケーションを図る能力を身に付け,日本の生活習慣,制度,手続及び地域社会の在り方等について理解を深めることが必要である。</p> <p>そのため京都市では,市民がホームステイをはじめとしたボランティアに気軽に参加することにより,外国人と直接触れ合う機会を持っていただけるよう,また,外国籍市民が市内の幅広い地域で容易に日本語を学べるよう,国際交流を促進するボランティアへの支援を拡充する。</p> <p>[事業概要]</p> <p>平成23年度は,市民へ国際交流ボランティア活動の魅力を紹介する事業や外国籍市民を対象とした日本語教室を開講するボランティアへの支援を行う。</p> <p>(1) ボランティアの魅力を知るセミナーの実施</p> <p>国際交流ボランティアの活動の専門家等による講演を通じて,市民にボランティア活動の楽しさ,魅力を伝え,ボランティア参加のきっかけとなるよう,セミナーを開催する。</p> <p>(2) ホームステイの魅力を紹介するリーフレットの作成</p> <p>異文化圏の人々に生活の場を提供し,人間同士としての豊かな交流を深め,お互いの文化を理解しあえるといったホームステイの魅力を紹介し,積極的な受入れを呼びかける冊子を作成する。</p> <p>(3) ボランティアによる外国籍市民への日本語学習支援</p> <p>財団法人京都市国際交流協会において,日本語を教えるボランティアに携わっていた方々等が,日本語の理解が十分でない外国籍市民等を対象とした日本語教室を自主的に開講できるよう,実施上のアドバイス(カリキュラム相談など)や広報活動における支援(制度周知,受講者募集に係る支援<ホームページ作成>)を行う。</p>			
[参考(他都市の状況・事業効果など)]			